

中国ビジネスセミナー

「徹底分析！中国現地法人が陥りがちな紛争事例とその対策」

時として利害関係にもなる合併パートナーとのあいだでは、現地法人の組織構築や利益配当の場面で紛争が発生することがあります。また労働者の保護傾向が強い中国では、自社の従業員との争いも一筋縄ではいきません。その他、日本とは社会制度や商習慣が異なる中国では、契約に関する紛争やコンプライアンスにも十分な注意が必要です。

中国でビジネスを行う以上これらの紛争リスクは全ての企業にあり、その対策を紛争が起こる前に講じておくことが重要です。本セミナーでは、曾我法律事務所パートナー住田尚之弁護士をお招きし、実際に多くの中国現地法人が巻き込まれた紛争事例を紹介し、その背景と対策を分析、検討します。

【主催】 株式会社チェイス・チャイナ (<http://chasechina.jp>)

【日時】 2018年4月19日(木) 13:30~16:30 ※13:20開場

【会場】 横浜情報文化センター7階小会議室 横浜市中区日本大通11番地 (<http://www.idec.or.jp/shisetsu/jouhou/access.php>)
(JR・関内駅から徒歩10分、みなとみらい線・日本大通り駅から徒歩0分)

【費用・1名様】※定員数20名程度

一般：12,000円(税込) 優待(チェイス年間購読者・MCH会員・講師紹介)：10,000円(税込)

資料のみ：10,000円(税込)

【講師プロフィール】



曾我法律事務所パートナー 住田尚之氏 (日本国弁護士)

2002年 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了。

2003年 弁護士登録、糸賀・曾我法律事務所参画、北京語言大学にて中国語研修(～2004年)。

2008年 国際協力機構(JICA)より中国全人代常務委員会法制工作委员会に派遣(民事訴訟法、仲裁法、不法行為法、国際私法の立法支援に参画)(～2010年10月)。

2012年 曾我法律事務所パートナー、浩天信和律師事務所顧問(～現在)。

主に中国に進出する日本企業をサポートする各種法律業務に従事。

主な著作として、「中国法務ハンドブック」、「中国契約マニュアル」(いずれも共著)など。その他論文多数。

【プログラム】 ※最新の情報をお届けするため一部のプログラムを変更する可能性がありますのでご了承ください。

1、出資者間紛争

- 1) 機関決定に関する紛争
- 2) 出資者の情報開示請求に関する紛争
- 3) 利益配当に関する紛争
- 4) 出資持分の優先購入権に関する紛争
- 5) 組織再編に関する紛争
- 6) 会社の解散を巡る紛争

2、契約紛争

- 1) 様式契約の効力に関する紛争
- 2) 債権譲渡を巡る紛争
- 3) 債権者代位権、債権者取消権の行使を巡る紛争
- 4) 違約責任、契約解除を巡る紛争

3、不正従業員との紛争

- 1) 従業員による横領
- 2) 従業員による情報流出
- 3) セクハラ

4、コンプライアンス事件

- 1) 贈収賄
- 2) カルテル
- 3) 不正競争行為

住所	〒 ()		
会社名			
受講者氏名			部署
電話			Eメール
参加方法	一般 () 優待 () 資料 () 不明 () ※費用の項目をご参照の上、該当にチェックを入れてください。		

お申込み方法： Fax: 045-315-4946 Email: info@chasechina.jp (担当:横幕、杉山)

【注意事項】

費用のお支払いは事前のお振込みとなります。お支払いいただいた費用につきましては、原則返金いたしませんので、何卒ご協力をお願いします。諸事情により出席ができなくなった場合は、代理の方の出席をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社チェイス・チャイナ セミナー事務局
Tel (Fax 共通) : 045-315-4946
E-mail : info@chasechina.jp (担当: 横幕、杉山)